社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 令和05年01月16日

1-1			10 H / 17 H							
計画の名	名称 木更津市にお	ける下水道整備による良好な環境の実	現(重点計画)							
計画の期	月間 令和03年	度 ~ 令和07年度 (5年間)						重点配名	分対象の該当	0
交付対	象 木更津市									
		行い、安全・安心、快適な暮らしを実								
全体事	業費(百万円)	合計 (A + B + C + D)	7,406 A	7,406 B	0 C	0 D	0 効果促	進事業費の割合C/(A+B+	- C + D)	0 %
				計	画の成果目標 (定量的指標)	T			
番号								定量的指標の現況値及び		
			定量的指標の定	発表で算定式			当初現況値	中間目標値	最終目	目標値
	— 1.346 km rm 1 — 34	7	1				(R3当初)	(R5末)	(R7末)	
1		及率を56% (R3) から60% (R7) に増 R +	加させる。				·		lann,	
	下水道処理人口普		国党,从日本大公师10.40	5 400 1 / 公知0年4日4日1日右	- \		56%	58%	60%	
2		る人口(人)/総人口(人) 総人口 設整備計画の策定率を、0%(R5)から			=)					
		設整備計画の策定率	710070(100水)に相加させる。	0			0%	0%	100%	
		/ 策定すべき計画数								
								l	<u> </u>	
							1			
							1	ı	1	
	備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む -	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む	3 - 避難確保計画の策定	避難行動要支援者	名簿の提供

A 基幹事業	,			,			•							,		,	
		事業			直接	1 男女女	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /		€施期間 (全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号		種別		間接	t		「生力」と	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R03 R0	4 R05	R06 R07	7 (百万円)	便益比	策定状況
I			_実施す	ることによ	こり期待	きされる効果											/
		備考								т							!
下水道事業	A07-001	11 下水道	一般	木更津市	直接	木更津市			清見台 5 号幹線整備(未	250 L=0.2km	木更津市			,	26		-
							汚水)		普及解消)								
	A07-002	2 下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	清見台 1 号幹線枝線整備	200 A=27.7ha	木更津市	T		1	1,163		-
							汚水)		(未普及解消)					.	'		'
ı																<u> </u>	-
									-								
	A07-00:	3 下水道	一般	木更津市	⋾直接	木更津市	管渠(新設	清見台 2 号幹線枝線整備	200 A=5.9ha	木更津市	\top	\top		248		-
		-					汚水)		(未普及解消)					.	'		
1									(CITIAL CONTROL)								
1				-													
l .	Δ07-00)4 下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	清見台 3 号幹線枝線整備	200 A=1.8ha	 木更津市	$\neg \neg$	$\neg \neg$		76	T	T
1	Λοί ου.	LWE	lux.	小头件小	Ē3×	小头件口	汚水)		(未普及解消)	200 A-1.011a	\(\neq \frac{1}{2} \)			.	,		-
I							//5小 /		(不百以附/月)								
I																	
I	137.00		——————————————————————————————————————	一		T.==+		T_+		T						Т	
I	A07-005	万水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(清見台 5 号幹線枝線整備	200 A=1.1ha	木更津市			.	46		-
1							汚水)		(未普及解消)								
1																	
I										_ .		<u> </u>					
1	A07-006	6 下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	貝渕幹線枝線整備(未普	200 A=6.8ha	木更津市			.	286		-
1							汚水)		及解消)					ı <u> </u>	'		
1																	
1													-				
1			\top	\top	T	T	\top	T	T			\top	\top		T		T
1										·						1	
1																	-

		事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実施	拖期間 (年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事来有 	作里力」	性力」と	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R03 R04	R05 R06 R07	(百万円)	便益比	策定状況
			-体的に実施することにより期待される効果													
		備考														_
業	A07-007	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	烏田1号幹線枝線整備(200 A=7.3ha	木更津市			307		-
							汚水)		未普及解消)							
	A07-008	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	岩根 4 号幹線枝線整備(200 A=6.4ha	木更津市			269		-
							汚水)		未普及解消)							
					•	1		•								
	A07-009	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	金田西特定土地区画整理	A=4.4ha	 木更津市			185		-
							汚水)		事業面整備(未普及解消							
)							
	A07-010	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	終末処	新設	木更津下水処理場水処理	V=24,050m3/日	木更津市			3,490		-
							理場		施設増設(未普及解消)							
	A07-011	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	請西2号幹線整備(未普	200 ~ 350 L=1.1km	木更津市			180		-
							汚水)		及解消)							
	A07-012	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	管渠(新設	請西2号幹線枝線整備(200 A = 80.0ha	木更津市			1,100		-
				1	1	1	汚水)	1	未普及解消)	1	1	1 1	1 1 1			

		事業	地域	交付	直接		種別 1	毎別っ	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			引(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接		作里力リー	作里力」と	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R03 R0	4 R05	R06 R07	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	リ期待	される効果											
		備考															
水道事業	A07-013	下水道	一般	木更津市	直接	木更津市	終末処	新設	脱水汚泥堆肥化施設事業	脱水汚泥堆肥化施設の整備計	木更津市				30		-
							理場			画策定							
																	•
											小計				7,406		
				1			1										
											合計		\top		7,406		
											1				,		
					Τ												
							1		T								1
				1					1								1
			1	1	1				•	•	1						1

交付金の執行状況

(単位:百万円)

			(十四・口/기コ/
	R03		
配分額 (a)	74		
計画別流用増 減額 (b)	0		
交付額 (c=a+b)	74		
前年度からの繰越額 (d)	0		
支払済額 (e)	53		
翌年度繰越額(f)	21		
うち未契約繰越額(g)	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場			
合その理由			

事前評価チェックシート

計画の名称: 木更津市における下水道整備による良好な環境の実現(重点計画)

事前評価	チェック欄
1. 目標の妥当性	
上位計画等との適合性 上位計画の「東京湾流域別下水道整備総合計画」と、整合は取れている。	0
地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性) 金田地区土地区画整理事業の事業計画に合わせた整備及び事業計画区域内の整備の促進を行っている。	0
川、計画の効果・効率性	
整備計画の目標と定量的指標の整合性 低い普及率の増加を目標としていることから、整備面積の拡大は整合している。	0
川. 計画の効果・効率性	
定量的指標の明瞭性 普及率を目標としており明瞭である。	0
川、計画の効果・効率性	
目標と事業内容の整合性等 目標である下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するための、整備を行っており整合している。	0
川、計画の効果・効率性	
事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 事業の実施による整備面積の拡大等は、目標を達成するとともに、効果が見込まれる。	0
円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) 説明会を実施し住民等に理解を求め事業を実施している。	0
III . 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 公共下水道整備に対する住民の理解及び協力は得られている。	
地元の機理(住民、民间寺の治動・関連事業との連携寺による事業効果光境の確実性) 公共下小追置権に対する住民の理解及び励力は待ちれている。	0
	
	1

